資料 2-1

# 令和４年度両丹文化財保護連絡協議会開催要項

1　目　的　　文化財は地域の歴史や文化を理解する上で欠くことのできない重要な要素であり、それらの遺産を保護し伝承していくことはきわめて重要です。

近年の資料の増加や社会の進展の中で、文化財に対する高度で専門的な知識が要求され、文化財の単なる保存伝承から積極的活用が求められています。

こうした中で、文化財保護に携わるものが一堂に会し、研修や問題点の検討を進め、文化財保護の推進をより一層図ることを目的とします。

2　主　催　　両丹文化財保護連絡協議会（当番市　京丹後市）

〔協議会〕中丹・丹後管内市町文化財保護審議委員等　約 100 名

伊根町、与謝野町、福知山市、舞鶴市、宮津市、京丹後市

※　オブザーバー：綾部市、南丹市、京丹波町、亀岡市

〔開催地〕加盟団体による輪番制

平成 29 年度　京丹後市

平成 30 年度　与謝野町

令和元年度　福知山市

令和 2 年度　舞鶴市

令和 3 年度　宮津市

3　日　時　　11 月 30 日（水）午後 1 時～5 時

4　会　場　　アグリセンター大宮視聴覚教養室

5　内　容　　テーマ　「災害と文化財」

〔趣旨〕　今年は北丹後地震（丹後震災）から 95 年、来年は三八豪雪から 60 年という年にあたります。近年は、台風や集中豪雨等による大規模災害が頻発しており、文化財を取り巻く環境は厳しさを増しています。

このような現状を踏まえ、「災害の記憶を伝える」、「災害から文化財を守り伝える」という二つの視点から情報交換を行い、今後の文化財保護を推進する機会としたい。

6　参加者　　京都府北部の各市町の文化財に携わる委員及び担当職員

7　参加費　　無料